



特 許 願

昭和50年 7月 20日

特許庁長官 齋藤英雄 殿

1. 発明の名称
カキイカ フンフ コンブ ヘイゴカガヒリヨウ
活性化した物質を混合した配合化学肥料
2. 発明者

住 所 (住所) 岐阜県岐阜市八幡町小野10番地

氏 名 マ モ ト 俊 孝

3. 特許出願人
岐阜県岐阜市八幡町稲成1番地

住 所 (住所) 岐阜県岐阜市八幡町稲成1番地

氏 名 (法人にあっては代表者の氏名) マン カ ガ コウ ヤウ
(国 籍) 八 幡 化 学 工 業 株 式 有 限 公 司

代表取締役 マン モ ト 俊 孝

4. 代 理 人 〒 500

住 所 岐阜市弥八町16番地

氏 名 (4334) 武 藤 六 三 郎

(ほか1名)

方式 表 50 092245

① 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 52 - 16363

④公開日 昭52.(1977) 2.7

②特願昭 50-92246

②出願日 昭50.(1975) 7.29

審査請求 有 (全2頁)

庁内整理番号

681249

⑤日本分類

4 A2

⑤Int.Cl²

C05G 3/00

1. 発明の名称

活性化した物質を混合した配合化学肥料

2. 特許請求の範囲

化学肥料に適量の活性化した粉粒状の物質を混合したことを特徴とする配合化学肥料。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、化学肥料に適量の活性化した粉粒状の物質を混合し、肥料の効果を向上する配合化学肥料に関するものである。

従来、健全、尿素系肥料等の化学肥料は単独又は数種を組合わせて土壌に散布して施肥していたが、雨水等による流失により甚だ不経済であつた。

本発明は、上記の欠点を除去すると共に

更に肥料の効果を高める配合化学肥料に係るもので、その構成を説明すると

各種植物から得られる木炭又は石炭を原料とし、活性炭の如く無灰、無臭、無害で表面積の極めて大きな多孔性の粉粒体状の活性化した物質の適量を健全、尿素系等の化学肥料に混合した配合化学肥料である。

本発明による配合化学肥料は、活性化した物質の吸収力を利用したもので、作物に施肥すれば土壌中に散布された化学肥料の有効成分を吸収し、雨水等による流失を防止し肥料の持続性を高め、土壌中に発生する有害ガスを吸収すると共に活性化した物質が黒色であるから太陽熱を吸収して土壌の温度を高め、作物の健全な生育を促進し、且つ、肥料が経済的に使用される等その実

特開 47152-15363(2)

用 的 効 果 は 甚 だ 大 な る も の で あ る 。

		以 上
特 許 出 願 人		松 本 俊 雄
代 理 人	弁 理 士	武 藤 六 三 郎
		六 川 昭 勝

5. 添 付 書 類 の 目 録

(1)	明 細 書	1 通
(2)	図 面	1 通
(3)	願 書 副 本	1 通
(4)	委 任 状	1 通
(5)	(審 査 請 求 書	1 通)

三 武 藤
六 三 郎
印

6. 前 記 以 外 の 発 明 者 、 特 許 出 願 人 ま た は 代 理 人

代 理 人 〒 500

岐 阜 市 弥 八 町 16 番 地

~~(7328)~~ 西 山 閣

(7694) 六 川 昭 勝

元 号
10 年